

平成26年6月12日(木)

ミドルソーラー事業に対するABLの取り組みについて

- お取引先のミドルソーラー事業の設備資金など総額9千万円をABL方式によりファイナンスしました。

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、メガソーラー建設・運営事業を手掛けるカジノン株式会社(岡山市北区、代表取締役 石井貴朗)と、おひさまエナジーステーション(岡山市北区、代表取締役 松本照生)が出資・運営する「おひさまミドルソーラー発電株式会社(SPC:特別目的会社)」が、山口県防府市の東洋コルク株式会社の工場屋根で実施する中規模太陽光発電(ミドルソーラー)事業の設備資金など総額9千万円をABL(※)方式(集合動産譲渡担保・売電債権譲渡担保)でファイナンスいたしましたので、お知らせいたします。

安定的な売電収入(売電債権)を担保とするABLの取り組みにより、同社の長期資金調達とメガソーラー事業への参入を支援することができました。

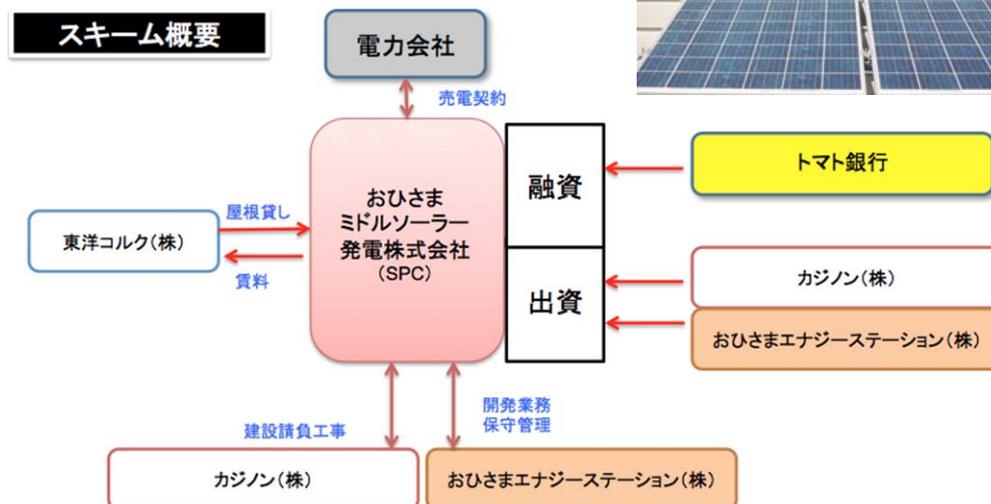
当社は、今後とも地域成長分野である環境・新エネルギー分野を積極的に支援することで、地域経済・社会の発展に貢献してまいります。

※ ABL(動産・売掛金担保融資 Asset Based Lending)とは、企業が保有する不動産以外の「在庫」や「売掛金」などを担保とする融資手法です。今回は売電債権と発電設備などを担保としたスキームとなっております。

記

太陽光発電事業の概要

所在地	山口県防府市大字浜方 (おひさま東洋コルク発電所)
出力	305キロワット
総事業費	総額9千万円
稼働開始日	平成26年6月10日



「スキーム概要」(おひさまエナジーステーションのホームページより)

以上

本件に関するお問い合わせ先 経営企画部(広報担当) 藤岡・俣野 TEL 086-221-1057